


ねらい

○子どものやる気を伸ばし、自立心のある子に育てたいと誰もが思います。しかし、実際はなかなか思うとおりにはいきません。参加者同士が交流する中で、「子どものやる気を伸ばす」工夫をもち帰ってもらいましょう。

時間	内容	主な活動	留意点
例： 60分 00:10	はじめのことば  3つの約束確認          アイスブレイク	<p>「みなさん、こんにちは。ご多用のところ参加いただきありがとうございます。今日は、“子どものやる気や自発性”について、考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」</p> <p>「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」</p> <p>① <b>参加</b> 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」</p> <p>② <b>尊重</b> 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」</p> <p>③ <b>守秘</b> 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」</p> <p>「それでは、みなさん、少し緊張していらっしゃるようですので、心と体をほぐしリラックスしましょう。」</p> <p><b>鬼なしフルーツバスケット</b> 「フルーツバスケットを知っていますね。わたしが言うことに当てはまる人が自分の席を離れて別の場所に動きます。」</p>	<p>◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。</p> <p>小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。</p>  <p>◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。</p> <p>◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。</p> <p>◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相づちを打ちながら聞くなどと、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を伝えると分かりやすいでしょう。</p> <p>◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。</p> <p>◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。</p> <p>◇PI5「7 アイスブレイクに活用できる簡単なゲーム」⑤参照</p> <p>◇「〇〇が好き」「〇〇をしたことがある」など自己紹介につながるようなものにする。</p>
00:40	ワークショップ	<p>「それでは、緊張もほぐれたところで、お配りしたプリントの『こんなことはありませんか』をそれぞれお読みくださって簡単にメモしてください。」</p>	<p>◇「こんなことはありませんか」については、詳細な説明はせずに、読んでいただくといいでしよ。</p>

		<p>グループディスカッション</p> <p>&lt;ワーク1&gt;  「みなさん、メモできましたか。では、順に、お子さんの要求に対して困ったり迷ったりされたことについてお話しして交流しましょう。」</p> <p>・料理をしていて、火や包丁を使う時。  ・何か新しいスポーツをやりがった時。  ・急いでいる時。 など</p> <p>&lt;ワーク2&gt;  「みなさん、それぞれ困ったり迷われたりしたことがおありなんですね。では、お子さんがやりがったときに、喜んで意欲的に活動させることができた声かけや接し方を思い出して紹介してください。」</p> <p>・普段は余裕がないので、キャンプなどに行った時、料理を作る手伝いをさせた。  ・スイミングやスポーツクラブなどに見学したり体験させてもらったりした。 など</p>	<p>◇話し合いを進めるには、様々な方法があります。P10「6 取組を活発にする手法あれこれ」を参考にしてください。</p> <p>◇どんな話が出されているか、簡単にメモをとるとよいですね。話している方を見て、うなずきながら聞くようにしましょう。</p> <p>◇自由に家庭の様子を話せるように、進行役の方の困っていることや悩んでいることを話すとよいでしょう。</p> <p>◇グループごとに交流する際、「自分にもできそう。」「よい方法だなあ。」などと思った意見は、ワークシートの「いいね！」の欄にメモを取るとよいことを、事前に伝えておきましょう。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのことば</p>	<p>「いかがでしたか。なるほどさっそく使えそうだという工夫もあれば、どうすればいいのかすぐには対応策が浮かばないものもありました。」</p> <p>「私も子育てする中で迷うことがたくさんありましたが、同じ親同士で、話すことで、気持ちが楽になりました。では、資料『子どもがやる気になる3つの言葉かけ』を紹介しします。子育てのヒントにしていだければと思います。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんよくやっというらっしゃるなあと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用したり、参加された方同士情報交換したりしてくださいね。」</p>	<p>◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すとよいでしょう。</p> <p>◇P123の資料のページの「子どもがやる気になる3つの言葉かけ」を読んで紹介しましょう。</p> <p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p>